

やいた 焼き板

【準備】

- 机を「㊤杉板を焼く場所」「㊦色つけをする場所」の2か所準備しましょう。
- 机の上に新聞紙を敷いておきましょう。

※㊤の机には焚き火シートを敷きましょう。

焚き火シートが足りない場合は、濡らした新聞紙を敷きます。

(焚き火シートと、濡らした新聞紙の上で杉板を焼きます。新聞紙が乾いたらまた濡らしてください。)

濡らした新聞紙

焚き火シート

【作り方】

- ①安全のため必ず軍手をしましょう。杉板をガストーチで焼きます。
※焼き具合はお好みですが、コゲるぐらいまで焼いても大丈夫です。
側面も忘れずに。裏面はお好みで。



- ②全体が焼けたら、真鍮ブラシでコゲやススを落とします。
※擦ってみて手につかないぐらい落とします。
※焚き火シートの上ではやらないでください。



- ③布切れで残ったススや汚れを落としきれいに磨きます。



- ④ポスカで絵や字を描きます。

- ⑤最後にヒートンを取り付け、麻紐を通したら完成です。
※ヒートンが入りにくい場合は、キリで穴を開けると入りやすくなります。
キリを使うときは、安全に注意しましょう。



注意とお願い

- 火を使いますので、やけどやけがのないように十分に注意をしてください。
- 机や床、壁などを傷つけたり汚したりしないようにしてください。
- 使用した場所は掃除をしてください。机・イスを整頓して、職員の点検を受けてください。
- 貸出用具は数を確認して、もとの場所へ戻してください。
- ゴミは持ち帰るか、ゴミ袋を購入して施設で廃棄してください。